

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 70 号 2017 年夏号

<http://nadogaya-biotope.org/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：篠崎 将 Tel/Fax 04-7173-6353

春の生態調査

2017.6.20 (火) 9 時～ 10 時半 気温 26℃
朝から晴れとなり爽やかな日で篠崎さん他
2 名の参加でした。A、B ゾーンで捕獲網を持っ
て回り、トンボ、チョウ、クモなどを確認。

鳥類は少なく、カラスとスズメ程度でし
た。確認したものは 32 種です。名戸ヶ谷小教
諭の高橋さんが、児童研修用にとカワニナと
サカマキガイを持ち帰りました。



ハグロトンボ



オオシオカラトンボ



イオウイロハシリグモ

ヘイケボタルの観察会

今年は 6 月中旬から 1 週間ごとに 3 回実施
し、2 回までは雨天予報の為に月曜日へ延期
となりました。4 月に松清さんが飼育してい
たヘイケボタル幼虫、約 130 匹を A ゾーン柳
の木付近の水路に放流し、昨年までの「回生
の里」側の場所から水量不足の為に今年変更
しました。小笠原さんの設置してくれた木道
沿いで観察し、月あかりはなく風もなく良い

コンディションでした。3 回とも発光確認が
できて大変良かったです。

特に最終日は、多くの近隣住民の父兄、児
童が参加し全員がホタルを観察でき、喜んで
帰りました。今年放流地の生息環境は全く問
題ない事がわかり、来年に生かしたいと思い
ます。参加者の皆様ありがとうございました。

(藤平 三郎)

観察会日程

第 1 回	6 月 19 日 (月)	1 匹発光	参加者	3 名	うち一般参加者	2 名
第 2 回	6 月 26 日 (月)	1 匹発光	参加者	4 名	うち一般参加者	0 名
第 3 回	7 月 2 日 (日)	2 匹発光	参加者	15 名	うち一般参加者	12 名

田の草取り、追肥作業

農薬ゼロのため今年も雑草が繁茂し、特にコナギの成長が早いので6月10日、24日に草取りを行いました。また、6月24日に「カリ肥料」の散布、7月15日には「穂肥」の追肥を田んぼの面積に合わせて計量し、散布しています。コナギは全部除去できず元気に成長しています。



稲株の間で成長しているコナギ

今年もスズメよけネットを張りました



ネットを引っ掛けないように掛けます

7月22日に「もち稲」の穂が出ました。1週間ほど遅れて「うるち稲」も出ました。ほぼ例年通りで順調に生育しています。スズメもこれを逃さずとおいしく実り始めた穂を食べに多くが集まっています。今年は遅れて



8月11日にネットを張りました。キジバトはネットの外からついばんでいます。

ネットの外からキジバトが食べています

今年も案山子を作りました

話題の人は多いのですが、なかなか難しくて・・・



フナッシーもお色直しをしました



上野のパンダに赤ちゃん誕生です

夏休みももうすぐ終わりますよ。宿題は終わりましたか？

上野のパンダに赤ちゃん誕生です。9月に名前が決まります。お隣の茨城の関取、東京のトップも頑張っています。

*散歩に来る方や園児たちが新しい案山子を早速見つけていました。

(小笠原 智)

Bゾーンの濁水、Aゾーンのイタズラが心配です

梅雨の6月は晴天続きでザリガニ釣り場が2回濁水しました。ヌマエビやウシガエルのオタマジャクシ、カガヤシは全滅、ザリガニは穴を掘って避難しました。

また、夏休みに入って子供によるイタズラがひどく、市役所と警察に届けています。



案山子が田んぼに投げられ、稲も倒されています



ザリガニ釣り場の水が無くなりました



死んだ魚周りにアゲハチョウが集まっていた



はざがけパイプ用の杭が全部折られてしまい、新たに購入して打ち込みました



作業小屋付近は日陰が少ないので、パイプ棚上にヨシズを載せて休憩所を作りました。ゴーヤも這わせています。(小笠原 智)



ヨシズ棚の休憩所で一服です

ツルマメはヨシの大敵

7月、8月の活動日にはBゾーンのツルマメの除去、ご苦労様でした。

想像以上にツルマメの育ちが早く、蔓がヨシに巻き付いていてヨシごと刈り取らなければならない程大変な作業でした。昨年のようにヨシがツルマメに覆われてしまう事がないように、この後も根気よく刈り取っていく必要があります。ご協力をお願いします。



Bゾーンの南側はヨシやヒメガマが自然に近い状態で残っている場所です。

ヨシの茂みは虫や鳥たちのすみかになり、ヨシの足元の水の中には魚や沢山の小さな生きものが住んでいます。生き物たちのためにもツルマメからヨシを護りたいものです。

ミズアオイ 今年もビオトープで見られるかも

近頃は全国的にも少なくなってしまうミズアオイ。千葉県では絶滅危惧種に指定されています。一度見たら忘れられない程美しい濃い青紫色の花です。3年前、大津川河口の休耕田に出現したミズアオイが今後消えてしまう恐れがあったため一時的にビオトープに移されたことがありました。しかしその後ビオトープでミズアオイを再現することはできませんでした。

が、今年 同じ場所のミズアオイを種から育てていた方が苗をゆずってくださいました。有難くいただいて、ビオトープで観察していくことになりました。

7月15日、旧木村家の池に4ポット、休耕田の池に3ポット移植しました。グングン育っています。9月の中頃過ぎの開花を楽しみにしましょう。(山村 和子)



月例活動状況のお知らせ

6月から8月までの会員の月例活動状況をお知らせします。

6月17日(土)

会員 15 名参加し、A ゾーンの葦、蒲、セイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサの刈り取り、水田の除草作業、市道の草刈り、B ゾーンのあかばなの保護作業、水田への追肥作業を実施しました。



A ゾーンの葦、蒲の刈り取り作業



追肥作業

7月15日(土)

会員 15 名参加し、B ゾーンにつる豆の除去作業や除草作業、市道の草刈り等を行いました。つる豆は複雑に絡み合っており、除去作業に手間取りました。市道の雑草はこの時期は伸びが早く、小まめの刈り取りが必要のようです。



つる豆の刈り取り作業



市道の草刈り後

8月19日(土)

会員 13 名参加し、市道の草刈り、木村邸前の雑草の除去、A ゾーンのセイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサ、葦、蒲等の刈り取り作業、先月に続きB ゾーンにつる豆の除去作業を実施しました。
(園田 廣満)



A ゾーンセイタカアワダチソウ、葦の刈り取り作業



木村邸前の雑草の刈り取り作業

新会員です！

今年度より入会させていただきました高橋紀子と申します。

2年ほど前より、一般参加者として小学生の我が子と一緒に、田植えや生き物観察会に参加させてもらっていました。子どもに自然体験をさせたいと思ったのがきっかけでしたが、私自身も身近な自然とふれあう魅力を感じています。

今は、小学校でパート職員として働いていますが、子どもたちが校庭でいろいろな草花を摘んだり、虫をつかまえて楽しんでいる様子を見かけます。そんな子どもたちに、ビオトープで教えてもらったことをもっと話せたらいいな、という気持ちで会員にさせていただくことになりました。

何か月か経ってみると、ビオトープの自然を守るためには、いろいろな作業があつてのことだと実感しました。増えすぎたアシなどの刈り取り、農薬をまかない田んぼの雑草抜き、ザリガニなど外来種の駆除。そういった

多くの作業に、平日週末と仕事や家族の予定で参加できないことが多く、とても申し訳なく思っています。ただ、できるところからでも関わらせていただくことで、季節ごとの大変な作業があるからこそ田んぼでは収穫があり、多くの生き物に出合える楽しさがあるということ、子どもたちにも伝えていきたいと思っています。

ところで、小学校ではメダカを飼っていて、水槽にはコケを食べる小さな貝も一緒に入っています。外来でよく増える、「サカマキガイ」だと思のですが、この水槽にビオトープで探していただいた、カワニナやタニシを入れたら子どもたち、「大きい！」「元気がいい！」と大喜びでした。

これからも新しい経験や発見を楽しみにしています。どうぞよろしく願いいたします。



6月の「生き物調査」のときに撮影した写真。気に入って、学校に飾っています。

秋の行事予定

秋（9、10、11月）は次の行事を予定しています

- 9月 ● 稲刈り：9日（土）10日（日）、次週以降 名戸ヶ谷小1日
- 9月定例活動：16日（土）
- 10月 ● 脱穀：中旬の2日間 ● 秋の生態調査：11日（月） ● ハザ解体：中旬
- 10月定例活動と秋の生きもの観察会：21日（土）
- 11月 ● 収穫祭：初旬 ● 11月定例活動：18日（土）

（注）詳細の日時と定例活動の具体的な作業内容等については事前に担当幹事からメールリングにてお知らせします。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）